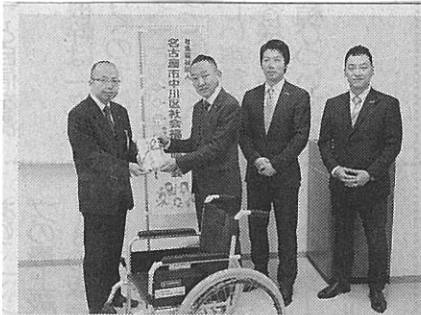


媒体名	日刊自動車新聞
掲載日	2018.1.26

## 車いす第6号の 寄贈は中川区へ

ヤナセ労働組合

ヤナセ労働組合（竹田文明  
中央執行委員長、東京都港  
区）はこのほど、名古屋市中  
川区の社会福祉協議会に車い  
すを寄贈した。ヤナセとそ  
のグループ会社の従業員で構成  
する組合員3600人の同組  
合が行う社会貢献活動の一環  
として行ったもので、車いす  
の寄贈は今回で6回目。当日  
は、竹田委員長ら組合幹部・  
スタッフが同協議会に車いす  
を持参し、水野道明事務局長  
に目録を手渡した。写真。



同組合の車いす寄贈は、2  
008年12月の日本自動車会  
館への第1号を皮切りに、そ  
の後は札幌市やさいたま市、  
千葉市、横浜市と、ヤナセが  
販売拠点を持ち、同組合支部  
が所在する地域の社会福祉協  
議会に行ってきた。組合で  
は、1個0・5リットの飲料缶リ  
ングプルを収集することでボ  
ランティア活動を開始、組合  
員らが約3年をかけて収集し  
た120万個と交換した車い  
すを寄贈した。

竹田委員長は「昨今はプル  
を使用する飲料缶が少なくな  
り収集は困難になっている  
が、活動を知った家族や周り  
の人達の協力の輪も広がっ  
ている。そうした協力する姿  
を知り、我々も沢山の事を学  
んでいる」とし、「出来る事  
から始める」でスタートした  
活動だが、今後も細く長く続  
けていきたい」と語った。

また中川区社会福祉協議会  
では「当所では、高齢者や怪  
我をした人を対象に、車いす  
の貸出し制度を行っているほ  
か、福祉教育の一環として、  
学校での車いす体験を行って  
いる。車いすの寄贈は大変う  
れしいことで、大切に長く使  
っていききたい」（水野事務局  
長）と謝意を伝えた。